

常任委員会審査概要

総務市民委員会

委員長 三宅繁博 副委員長 吉田善三郎 委員 佐藤 駿・石津裕之・山川和孝・山本照男・原田泰樹・谷 國光

議案第47号

令和7年度四国中央市一般会計補正予算[所管分]

質問

診療所DX推進事業について伺う。

質問

航空写真撮影業務委託料の詳細を伺う。

答弁

新宮地域の医療を守っていくために、何ができるのかということも含め、今回の実証事業を行う。
薬の処方や支払い方法などさまざまな課題が抽出されると思うが、将来的に平坦地域で実施することも含めて検討していきたい。

答弁

適正な課税を実施するために、市内全域を撮影した航空写真から画像データを作成し、課税根拠となる土地の地目認定、家屋の新築や滅失などの状況を把握するものである。

教育厚生委員会

委員長 吉原 敦 副委員長 宇田秀雄 委員 田邊恵子・村上智子・宮崎 恵・飛鷹裕輔・川上賢孝

議案第47号

令和7年度四国中央市一般会計補正予算[所管分]

質問

公民館施設整備事業の詳細を伺う。

質問

下柏の大柏の保護用地について、具体的な整備内容を伺う。

答弁

妻鳥公民館のブロック塀改修工事や関川公民館の防水工事、三島公民館の調理室の空調設備工事などである。

答弁

地元の保存会や地域住民と相談し、樹木医の意見を参考にし、たうえで、保護用地として利用するための土の入替えや駐車場の整備、東屋の設置を検討している。

産業建設委員会

委員長 猪川 護 副委員長 横内博之 委員 下司早智子・三浦克彦・眞鍋利憲・眞鍋幹雄・曾我部 清

議案第47号

令和7年度四国中央市一般会計補正予算[所管分]

質問

公園整備工事の予定箇所を伺う。

質問

水利権協議資料作成業務委託料について内容を伺う。

答弁

公園整備事業では、城山公園の階段に手すりの設置を予定している。
また、公園施設長寿命化対策事業では、三島公園の園路拡幅と朝日児童公園の鉄棒更新を予定している。

答弁

柳瀬ダムから農業用水を取水する銅山川疏水は、国から水利権を取得するために、10年に1度の更新が必要である。現在の許可が令和9年3月末までであるため、来年度の更新作業のために、必要な書類などを作成する。

議決結果一覧

番号	件名	議決結果
承認第 3 号	四国中央市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認
承認第 4 号	交通事故に伴う和解についての専決処分の承認を求めることについて	承認
承認第 5 号	令和7年度四国中央市西部臨海土地造成事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第 41 号	四国中央市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第 42 号	四国中央市交流センター条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 43 号	四国中央市教育施設等使用条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 44 号	四国中央市営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 45 号	四国中央市港湾施設条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 46 号	令和7年度四国中央市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第 47 号	令和7年度四国中央市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第 48 号	令和7年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第 49 号	令和7年度四国中央市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第 50 号	令和7年度四国中央市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第 51 号	令和7年度四国中央市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第 52 号	四国中央市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案可決
議案第 53 号	物品購入契約の締結について	原案可決
議案第 54 号	物品購入契約の締結について	原案可決
議案第 55 号	物品購入契約の締結について	原案可決
議案第 56 号	市道路線の認定について	原案可決
議案第 57 号	四国中央市特別職の非常勤職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 58 号	令和 7 年度四国中央市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第 59 号	四国中央市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 60 号	四国中央市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 61 号	村松5・6号岸壁改修工事（その1）請負契約の締結について	原案可決
議案第 62 号	物品購入契約の締結について	原案可決
6 年 陳情第 2 号	学校給食の保護者負担軽減を求める、学校給食費無償化を求める陳情	継続審査
7 年 陳情第 2 号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情	趣旨採択
7 年 陳情第 3 号	住民の、生命、自由及び幸福追求権が侵害されないよう、知事に伊方原発稼働同意の撤回を求める決議に関する陳情書	不採択



飛鷹裕輔
議員

就学援助制度の拡充と経済的負担の軽減を

質問

小・中学校などの修学旅行費用を一部補助（小学生25,000円、中学生60,000円）し、子育て世代の経済的負担を軽減している自治体がある。本市でも子どもたちが安心して学ぶ権利を保障するため、学校給食費だけでなく修学旅行費の補助が必要であると考えているが、市の考えを伺う。

答弁 教育指導部長

令和6年度は、小学生665人、中学生673人が修学旅行に参加した。一人当たりの平均費用は、小学校34,000円、中学校56,000円となっており、旅行行程や児童生徒数の違いにより、学校によって保護者負担額に差がある。

既に就学援助認定者については、修学旅行に係る費用の全額を支給している。仮に児童・生徒全員の修学旅行費用の半額を補助した場合、一人当たりの平均費用を基に試算すると、約3,000万円掛かる。

修学旅行費の補助については、今後、財源の確保や補助の内容について、他市の状況などを踏まえながら検討したい。

その他の質問 公共施設の照明設備について



曾我部 清
議員

入札の在り方について

質問

令和6年度の一般競争入札における落札率は、95%以上である。これで一般競争入札と言えるのか。これを疑問に思わない方はいないのではないか。本来の競争の原理が働けば、年間3～5億円の税金の支出が削減でき、子育てや教育、福祉などに活かせる。競争入札の在り方について市長の考えを伺う。

答弁 市長、契約検査課長

公共事業においては、競争の原理が働くということが大原則である。そのうえで、本市の入札制度がより良いものとなるよう、さまざまな角度から検討を進める必要があると考える。私自身も勉強をしながら取り組んでいきたい。

その他の質問 組織機構改革について / トンネルコンポスト方式におけるごみ処理施設の計画について



四国中央市議会公式 YouTube チャンネル 一般質問の全編公開 開始！

一般質問 1 日目 (6/17)



- ① 石津裕之 議員
- ② 吉田善三郎 議員

一般質問 2 日目 (6/18)



- ⑥ 佐藤 駿 議員
- ⑦ 猪川 護 議員

一般質問 3 日目 (6/19)



- ⑪ 村上智子 議員
- ⑫ 三浦克彦 議員



- ③ 田邊恵子 議員
- ④ 横内博之 議員
- ⑤ 宮崎 恵 議員



- ⑧ 下司早智子 議員
- ⑨ 宇田秀雄 議員
- ⑩ 吉原 敦 議員



- ⑬ 飛鷹裕輔 議員
- ⑭ 曾我部 清 議員



紙面の都合上、質問・答弁の一部を要約して掲載しています
一般質問の全編は、35ページの二次元コードから映像でご覧いただけます



吉原 敦
議員

障害児入所施設「太陽の家」について伺う

質問

「太陽の家」の建設工事が順調に進捗し、工期限内に完成することを願うところである。入所者は、障がいなどの課題を抱えて入所するため、療育には特性に応じた専門的な知識と豊富な経験を有する人材が不可欠である。受け入れ体制の人事について伺う。

答弁 市長、福祉部長

障がい福祉分野における人材確保は、全国的な課題であり、本市においても非常に厳しい状況にある。当面の対応としては、同一敷地内にある子ども若者発達支援センターに勤務する職員との連携を強化し、業務の一部を相互に補完しながら、施設運営に必要な体制を確保したい。

また、今年度民間に移譲した「障がい者支援施設ことな」へ派遣している職員についても、施設の運営状況を見極めながら法人と連携・協議を行い、段階的に派遣を解消するなどの柔軟な人事配置を検討している。

完成予想図



その他の質問 大西市政の下、新設された課の方向性を伺う / 訪問介護の人的資源について伺う



村上智子
議員

子ども若者発達支援センター「Palette」内の放課後等デイサービス事業所「東部子どもホーム」の廃止について

質問

市内にある放課後や夏休みなどの休業日に利用することができる、放課後等デイサービス事業所の数を伺う。
また、唯一の公営事業所である東部子どもホームの廃止に伴う今後の対応について伺う。

答弁 市長

令和6年度末現在、本市に開設されている放課後等デイサービス事業所は14か所である。

現在、東部子どもホームを利用されている方については、他の放課後等デイサービス事業所を利用できるよう、相談支援専門員と連携しながら、引き継ぎを行っているところである。

なお、本市では、障がいのある子どもを育てる家族が休息を取れるようにサポートする「レスパイトケア」が不足している。東部子どもホームの廃止後は、現在市内に事業所がない「日中一時支援」を令和8年度に同一敷地内に新築移転する障害児入所施設「太陽の家」の短期入所と組み合わせて提供する予定である。

その他の質問 高齢者のコミュニティスペースについて



三浦克彦
議員

農業生産者への支援について

質問

日本一の里芋の産地である本市は、伊予美人のブランド化により、消費者が求める里芋栽培と、もうかる農業モデルとして発展してきた。しかし、品質の確保やサトイモ疫病対策には、生産者への支援が欠かせない。支援が行き届いていない生産者への対応について伺う。

答弁 市長、経済部長

本市では、高齢化による農家戸数の減少、後継者不足や鳥獣被害による不作付地の拡大が進んでおり、作付面積の維持が課題になっている。

里芋の栽培については、うま農業協同組合などが中心となり、収量・品質の向上が見込める全期マルチ栽培の普及率を高めるために、講習会での提案や受託組織の活用を推進している。

また、国の支援策である「水田活用の直接支払交付金」の対象となる「地域の特色をいかした作物」として、引き続き里芋を水田収益力強化ビジョンの地域振興作物に位置付け、継続的な支援を行っていききたい。

その他の質問 変わりゆく「家族」のかたちをどう支えるか / デジタル社会のパスポート「マイナンバーカード」について / 市民の憩いの場としての公園整備について

一般質問



猪川 護
議員

学校教育を充実させるための環境づくりについて

質問

学校教育の充実や学力の向上は、地域活性化の要である。全国学力テストの平均正答率が高い自治体ほど人口が増加する傾向があり、「教育日本一」を掲げた埼玉県戸田市は、人口増加を実現した。本市においても学校教育における将来のビジョンと具体的な戦略を打ち出すことが重要であると考え、市の考えを伺う。

答弁 教育長、教育指導部長、学校政策課長、学校教育課長

本市は、ICT教育において、充実した取り組みが行われている自治体として全国的に注目されており、市の魅力の一つとして成果を上げている。学校教育においては、学力向上にのみ重点を置くのではなく、知・徳・体をバランス良く育成することが重要であるため、徳・体の育成にも、学力向上と同様に継続して取り組んでいる。

また各校では、年度当初に学校教育課から示される「学校教育の重点ポイント」を基に、独自の「学校の教育目標」を定め、具体的な戦略や組織体制をグランドデザインに明記し、全教職員でその実現に取り組んでいる。

その他の質問 当市のエンジンである紙産業を活性化させる戦略と体制について



下司早智子
議員

指定福祉避難所の運営について

質問

有事の際は、48時間以内にトイレ、キッチン、ベッドを避難所に整備する「TKB48」が重要である。市民の命を守る福祉避難所の運営体制について伺う。

答弁 市長、総務部長

避難所における適切な生活空間を確保するため、体育館だけでなく、可能な限り教室なども活用することで、避難者一人ひとりのスペースを拡大するよう取り組んでいる。この取り組みは、福祉避難所に行くことのできない要配慮者の方に対して、必要な生活空間を提供することにつながるものと考えている。

今後も国の指針などに基づき、指定福祉避難所の拡大、段ボールベッドやパーティション、簡易トイレの備蓄などに取り組み、避難生活における良好な生活環境の確保に努めていく。

その他の質問 通学路のグリーンベルトについて / ジェンダーバイアスのない四国中央市を目指す取組について / 友活恋活チャレンジ事業について



宇田秀雄
議員

中学校部活動の地域移行について

質問

部活動の地域移行について伺う。
また、地域移行を円滑に進めるためには、コーディネーターの配置が重要であると考え、市の考えを伺う。

答弁 教育長、教育管理部長、文化・スポーツ振興課長

まずは、休日の地域移行を推進する。そして、地域移行を実施する中で、課題などが整理・解決できたものから、平日の地域移行を検討していく。

地域の人材と部活動を結び付け、地域移行を円滑に進めるためには、コーディネーターの配置が不可欠である。教育委員会において、学校部活動に関する高い識見のある方を任用し、学校や受け皿となる各種団体などと連携しながら、部活動の地域移行を推進していく考えである。

その他の質問 本市の行政サービス品質向上に向けた取組について



紙面の都合上、質問・答弁の一部を要約して掲載しています
一般質問の全編は、35ページの二次元コードから映像でご覧いただけます

選挙戦で発信していた内容について市長の考えを問う



横内博之
議員

質問

市長は、川之江北中学校と川之江南中学校を1つに、また三島西中学校と三島南中学校を1つにする案を示すなど、小学校より先に中学校の再編を優先する考えであるが、小・中学校の再編にどのように挑もうとしているのか、考えを問う。

答弁 市長

まずは中学校の適正規模と適正配置を検討する。そして、通学手段を確保しながらも、豊かな人間関係の形成ができる教育環境の整備を行い、学習環境の充実を図っていく。
小学校の在り方については、中学校再編の検討を進める中で課題を整理しつつ、地域の皆さまからさまざまなご意見を頂きながら、学校規模の適正化を含めた学校教育の在り方を議論する。そのうえで、子どもたち一人ひとりの学びの質を最大限に高めることができる最適な教育環境づくりを検討していく。

その他の質問

都市公園の整備について / 多子世帯向けの支援について / 観光振興について / 空き家の発生抑制と利活用について

減災教育について



宮崎 恵
議員

質問

学べる揺れ体験マット「YURETA」の購入経緯と今後の活用予定を問う。

答弁 市長、総務部長

今年2月に設立した「四国中央市防災士ネットワーク」を中心とした、市民向けの防災減災事業のツールとして、「YURETA」を購入した。
今後は、研修や体験学習を受けていただいた防災士の方に、それぞれの活動の中でマットを利用してもらい、研修で学んだことを広めていただきたい。また、小・中学校に「揺れ体験マット研修」を案内し、災害発生時に自ら考え、命を守る行動ができる児童・生徒を1人でも多く増やしたい。

その他の質問

総合的かつ計画的なまちづくりについて / 子育ての悩みごと相談窓口について / 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業への取組について / 有害鳥獣被害防止について

北地区交流センターについて



佐藤 駿
議員

質問

天満・蕪崎両公民館の機能を統合した北地区交流センターが7月に開館する。5年以上の歳月と6億円以上の予算を投じた大規模な計画であるが不安も大きく、行政と住民の信頼構築が不十分である。これまでとこれからの市の対応について問う。

答弁 教育長、教育管理部長

天満・蕪崎両地区においては、それぞれ幾度となく関係者協議や住民説明会を開催し、少しずつ民意の醸成を図ってきた。令和元年10月に地元関係者同意の下で立ち上げた建設委員会では、12回にも及ぶ会合を重ね、交流センター建設に関わる重要な要素を協議し、その都度決定をいただいていた。地域の皆さまにも、さまざまな感情や思い、意見があることは理解している。当面は、両地区の公民館で実施してきた事業を継承しつつ、将来的に事業の統合や新たな事業展開などを進めていく。その中で、徐々に地域の一体感が醸成されることを願い、地域に寄り添った運営に努めていく。

その他の質問

鳥獣害対策について / 給食費及び副食費の無償化事業について / 投票率向上における取組について

一般質問



石津裕之
議員

救急隊員の負担軽減と持続可能な救急体制の構築について

質問

ストレッチャーの上げ下ろしや階段搬送は、救急隊員の腰や膝に大きな負担が掛かることから、慢性的な痛みや離職の原因にもなっている。県内では、今治市や八幡浜地区の消防本部が電動ストレッチャーを導入し、一定の効果があつたと聞いている。本市での導入について伺う。

答弁 市長、消防長

県内では、令和6年度に2つの消防本部で導入されているが、本市ではまだ導入に至っていない。
既に電動ストレッチャーを運用している消防本部では、身体的負担の軽減や女性隊員の活動効率の向上、ストレッチャーの転倒リスクの低減などの効果が報告されていることから、本市でも現在、導入に向けた準備を進めている。今後も他市の取り組みを参考にしながら、救急隊員の負担軽減と救急現場活動の効率化に努めていく。

その他の質問

川之江ふれあい交流センターをサードプレイスのモデル公共施設へ / 市職員の健康管理と更年期障害への対応について



吉田善三郎
議員

四国中央市三代目市長就任に当たり、大西賢治市長に伺う

質問

昨年、合併20周年の節目を迎えた本市であるが、人口が約96,000人から約80,000人に減少し、消滅可能性自治体のレッテルを貼られている。
更には、地元大手製紙会社の業績不振や中核病院整備事業の一時中断などの課題が山積している。市長は、どのような理念と基本姿勢で市政を運営していくのか伺う。

答弁 市長

私は、「ひとと地球にやさしいまち」を次の世代に引き継げるよう「市政を善進させる」ことを理念とし、市報6月号にも書かせていただいたように、「^{ぎやくふうまんぱん}逆風満帆」の精神、つまり、「前から吹く強風を心地よいと思え！そしてその風を全身で受け止め、推進力に変えて力強く前へ進め！」ということを常に自身に言い聞かせている。
そして、市政善進の基本姿勢として「^{けんぜんさっしん}健善颯新」、「^{じどうかんたい}児童歓待」、「^{はいけんちしゅう}廃県置州」の3つの言葉を大切にしながら、新しい市政へとゆっくりと舵を切っていきたい。

その他の質問

市内の自治会及び町内会について



田邊恵子
議員

子育てしやすい環境づくりについて

質問

出産後の女性の中には、低出生体重児の赤ちゃんの入院や早期の職場復帰などの理由から、自分で母乳を絞る「搾乳」を必要とする方がいる。本市の授乳室にも搾乳室の表示を併記するなど、安心して搾乳できる環境づくりに対する市の考えを伺う。

答弁 市長

搾乳の必要な方が不安を感じることがないよう、市役所庁舎棟、同市民交流棟、保健センター、しこちゅ〜ホール及びユーホールにある授乳室の入り口などに、搾乳室としても利用できる旨の表示を行う予定である。
併せて、搾乳のための授乳室利用について、広く周囲の理解が得られるよう、子育て支援アプリ（母子モ）や市の公式ホームページ、LINEなどを使った情報の発信に取り組み、安心して利用できる授乳室の環境を整備していく。

その他の質問

子ども家庭センター設置について / 子育てしやすいまちづくりについて



自然林と清流の調和が美しい富郷溪谷(富郷町寒川山)

お仕事探しは
月給制派遣の
クリエアナフキ

TEL:0897-31-5010

〒792-0812
新居浜市坂井町2丁目4-23
マルニビル2階
有料職業紹介事業:37-30-010031
労働者派遣事業:派37-010003

求人サイト <https://www.crie.co.jp/jobportal/>

Instagram: crie-nihami

水田法律事務所
愛媛弁護士会所属 弁護士水田大輔
まずはお気軽にお電話を

☎(0896) 22-4003

四国中央市川之江町1856-35
三木ビル3階

交通事故・相続
不動産の問題・離婚
債務整理
その他民事一般

— 思い伝えるお手伝い。 —

株式会社 ムンパ

〒799-0431 寒川町2582 TEL 0896-25-2426 FAX 0896-25-2570